



# 塩田知事が獅子島を視察

## 島民との意見交換

6月7日、塩田康一鹿児島県知事が獅子島を視察しました。獅子島の児童生徒らによる獅子島太鼓の演奏と島民からの歓迎を受けた塩田知事は、「元氣いっぱい素晴らしい太鼓の演奏に私も元気をいただいた。島民の皆さんにも盛大に歓迎していただきありがたい。本日は、島の現状をしっかりと視察して帰りたい」とあいさつしました。

獅子島では、ブリの養殖場や獅子島架橋建設想定地、獅子島汽船（幣串港）、七郎山を視察。視察後は獅子島アイランドセンターで開催した「島民との意見交換」で、獅子島架橋や獅子島汽船、児童生徒の教育格差、島の住宅事情などについて意見交換を行いました。

意見交換の主な内容を紹介いたします。

塩田知事を歓迎



獅子島太鼓の演奏で塩田知事を歓迎



獅子島架橋建設想定地を視察



七郎山を視察



到着後記念撮影に応える塩田知事



### 獅子島架橋

○獅子島に住む私たちは、いろいろな問題を抱えながら生活している。もし獅子島架橋が完成すれば、このほとんどが解決できると考えている。

架橋には多大な建設費やその他の問題がある事は承知しているが、獅子島のため、子どもたちのために早期の解決をお願いしたい。

**知事** 県としても、離島住民の安心安全を確保するのは大きな課題である。獅子島の場合、架橋が課題解決の手段として大きな意義があると感じた。また、架橋後の経済効果

や安心安全面が向上した伊唐島の前例を聞き重要性を感じた。

架橋実現の問題としては、多額の事業費が必要。県としても、基金積立を行っている町の熱意を国に伝え、働き掛けていきたい。

### 獅子島汽船

○獅子島汽船は、生活の足としてなくてはならない航路。現在の船は就航から36年経過し、さまざまなトラブルを危惧している。一日でも早い代替船の就航をお願いしたい。

**知事** 今後の方向性として代替船建造に取り組む。令和5年度

中に関係各所と調整し、令和6年度中には竣工（令和7年4月就航）予定。一日も早い就航に向けて努めていきたい。

### 教育格差の問題

○獅子島では、小学校の複式学級や塾通いが困難などの理由から教育格差に問題がある。**知事** 塾通いの際のフェリーダイヤの工夫やオンライン塾の活用を町と相談したい。

### 救急の現場から

○救急の際に、天候次第では島外へ搬送が困難な場合と救急搬送を遠慮し、救急連絡をしない場合がある。**知事** 架橋実現によって安心安全を担保してほしい。

**知事** 救急車やドクターヘリが必要な場合には、人命優先で遠慮せずに救急連絡をとってほしい。産業や観光、教育、医療面からも架橋の重要性は感じている。しっかりと国へ働きかけていきたい。

### 養殖飼料価格の高騰

○人工飼料が物価高騰により高値になっている。事業が継続

できるように企業努力だけでは賄えない部分を支援していただきたい。

### 渡船料の負担

○島外へ行くときに毎回のフェリー代の負担が大きい。特にコロナ時の負担が大きく、昨年は町から補助があったが、今後についても何か検討してほしい。**知事** 既存の離島支援に加え、今後どのような支援ができるか町と共に検討していきたい。

ブリ養殖場を視察



### 住宅問題

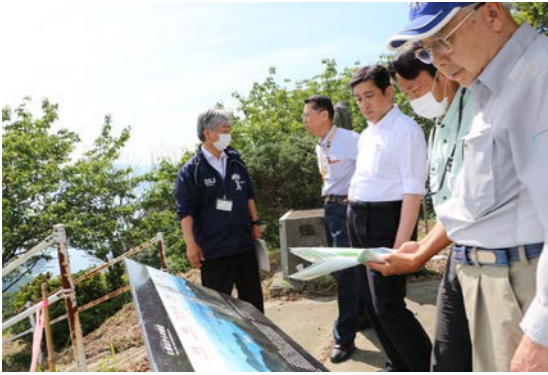
○獅子島には町営住宅が少なく、アパートもない。空き家も貸し手側の理由から活用しにくい状況。子どもたちの将来のために支障をきたさないように

**知事** 県でも餌の対策を行っている。さらなる価格高騰に備えて、国の漁業経営セーフティネット構築事業加入時の負担軽減について今後も検討するとともに、国へも要望していきたい。

島民と意見交換



七郎山で架橋想定地の説明



獅子島汽船を視察

